

長崎県県央保健所感染症発生動向調査速報

(第 2 週週報)

★トピックス：インフルエンザに注意しましょう。

県央保健所管内では、2 週のインフルエンザ報告が「14.25」と注意報レベルでした。前週同様、年末年始による受診・検査数の減少が影響している可能性があります。流行は続いているため、引き続き注意が必要です。インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、飛沫等に含まれるウイルスが付着した手指で自分の眼や口、鼻を触ることによる接触感染があります。1 日から 3 日間の潜伏期間のあとに 38 度以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が突然現れます。これに続いて咳、鼻汁などの上気道炎症が起こり、約 1 週間で軽快するのが典型的な症状です。今後も手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、大きな流行に備えてワクチンを接種しましょう。

★トピックス：感染性胃腸炎に注意しましょう。

県央保健所管内では、今週 2 週に感染性胃腸炎の報告が「3.00」と、前週「0.60」と比較して増加しています。感染性胃腸炎は、12 月以降に患者が増加する傾向にあります。本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスをはじめとするカリシウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。例年冬期に患者数が増加するのがノロウイルスによる胃腸炎です。ノロウイルスの潜伏期間は 1～2 日で症状の持続期間は数時間～数日です。症状は他の胃腸炎ウイルスと同様に嘔気、嘔吐、下痢が主で、腹痛や発熱を認める場合もあります。乳幼児から成人に至るあらゆる年齢に感染します。また、ノロウイルスは食中毒の原因としても検出されるウイルスです。ノロウイルスに感染した患者の手指から食品を介して感染します。予防には、手洗いが重要です。手洗いを励行し、体調管理を行い、積極的な感染防止に努めましょう。

○定点把握疾患（県央保健所）

※（―）は、報告なしです。

疾患名	前週 (1 週)	今週 (2 週)	備考	疾患名	前週 (1 週)	今週 (2 週)	備考
インフルエンザ	9.75	14.25	注意報	ヘルパンギーナ	―	0.20	
新型コロナウイルス感染症	―	0.38		流行性耳下腺炎	―	―	
RS ウイルス感染症	―	―		急性出血性結膜炎	―	―	
咽頭結膜熱	―	―		流行性角結膜炎	1.00	1.00	
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.60		細菌性髄膜炎	―	―	
感染性胃腸炎	0.60	3.00		無菌性髄膜炎	1.00	―	
水痘	0.40	0.20		マイコプラズマ肺炎	―	―	
手足口病	0.60	―		クラミジア肺炎	―	―	
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.40	0.60		感染性胃腸炎（ロタウイルス）	―	―	
突発性発しん	―	0.60		急性呼吸器感染症（ARI）	24.13	57.50	

○県央保健所管内の 1～5 類感染症の発生状況（結核を除く）2 週

報告なし